



去年の焼き増しですが
26春闘について
情報にしました①

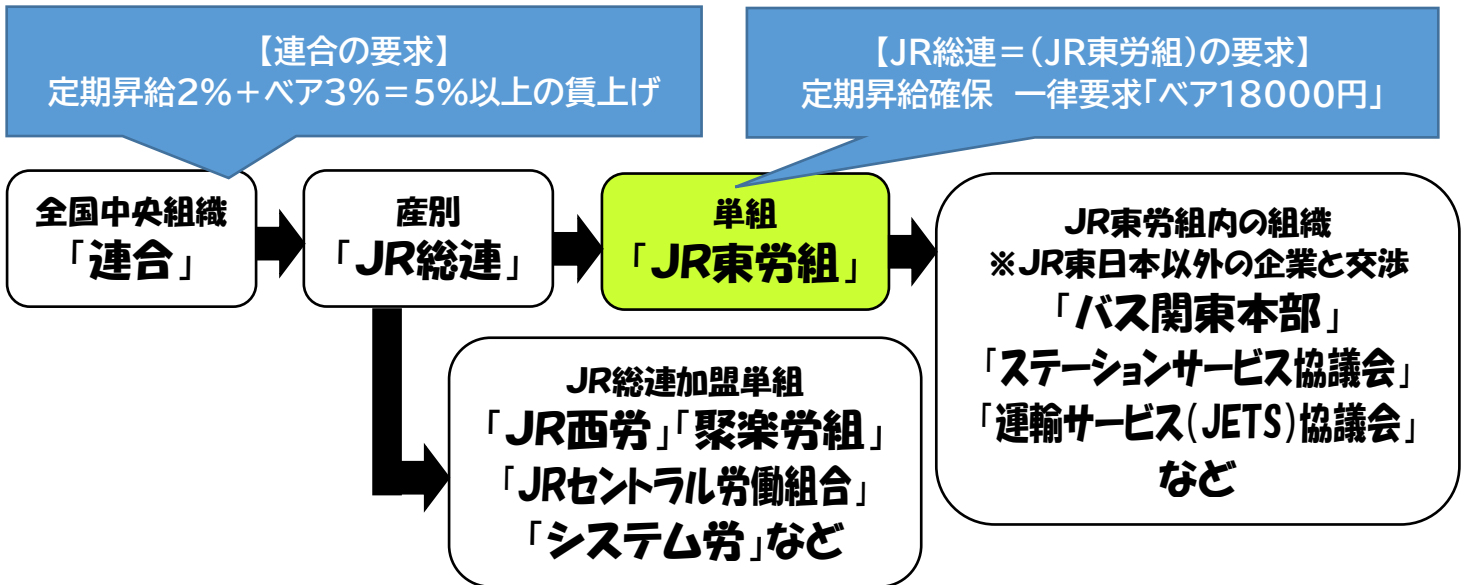
そもそも春闘とは？

春闘＝春季生活闘争と言います

企業の決算前及び来年度の予算を決める時期である2～3月に、次年度の賃金引き上げ等を求める取り組みです。

労働組合の全国中央組織が掲げた要求方針をベースに、産別(産業別労働組合)が統一した要求を掲げ、その要求を勝ち取るために各単組(個別の労働組合)で統一した闘争(労使交渉)を行います。

＜JR東労組の場合＞



春闘は「統一要求」「統一闘争」で会社と要求を勝ち取るために交渉を行います。各企業の労働組合が統一したたたかいを行う事で、会社に対する影響力が大きくなり、賃金の賃上げを実現しやすくさせます。企業の支払い能力が高い単組がたたかいをリードすることで、企業の支払い能力が低い単組・組織を後押しし、全体で賃金向上を勝ち取ります。

しかし今の春闘においては、産別で決定した統一要求・統一方針に従わず、独自の要求額を示し要求額などを出さない企業もあるそうです。はたしてこれで全労働者の賃上げを目指す春闘になるのでしょうか…



八王子地本春闘総決起集会

2月27日(金)18:30～ 八王子支部会議室

春闘は統一要求・統一闘争でたたかってこそ、
働く者の賃金を全体で底上げ出来ます！
私たちJRで働く労働者が団結し、
2026JR総連春闘をたたかうぞ！



去年の焼き増しですが
26春闘について
情報にしました②

ベースアップ・定期昇給とは？

①定期昇給

勤続年数に応じて毎年賃金が上がる仕組み。2026年2月現在のJR東日本においては、職制の等級に応じた所定昇給額をそのまま引き上げる形が「昇給係数4」となります。

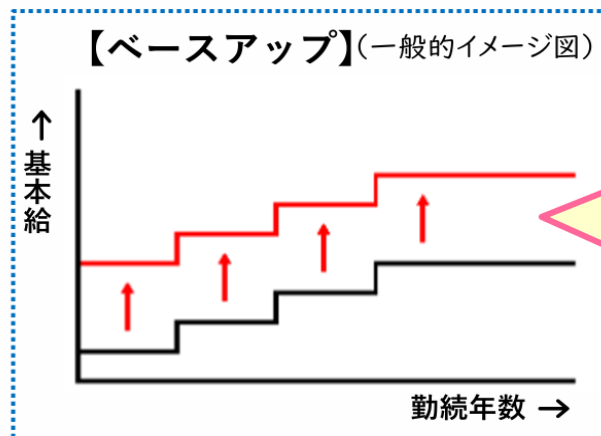
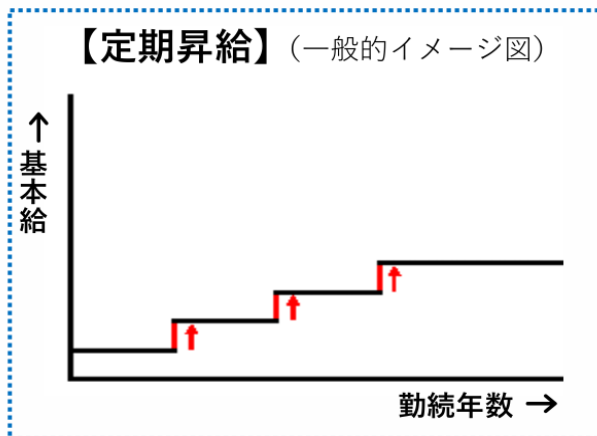
勤続年数が上がるほど経験値が上がり、臨機応変に対応できる能力が上がる(=労働力の対価が上がる)要素を加味し、定期昇給制度はあります。

②ベースアップ

物価上昇による「生計費の上昇」や、少ない人数で多くの仕事を行う「生産性向上」などの要素を加味し、**基本給(=都市手当や各種手当を除いた給与支給額)の底上げを求める仕組み。**毎年の春闘でベースアップ額をその都度要求し、団体交渉を経て基本給を底上げしています。

今年4月より新賃金制度に変更となり「基本給」が「職務能力給」と変わるなど多くの変化があります。その中で定期昇給やベースアップの方法がどの様になるか注目される2026JR総連春闘になります。

＜イメージ図＞ 出典：JR東労組仙台No41



八王子地本春闘総決起集会

2月27日(金)18:30~ 八王子支部会議室

私たちの賃金を底上げさせるためには、
ベースアップを勝ち取るしかありません！
私たちJRで働く労働者の団結力で
2026JR総連春闘をたたかうぞ！



去年の焼き増しですが
26春闘について
情報にしました③

私たちの賃金はどこから出ているの？

賃金はどこから出ているのか？

こんなイメージを持つ人もいるかもしれません

「会社の儲け(利益)から出ている」

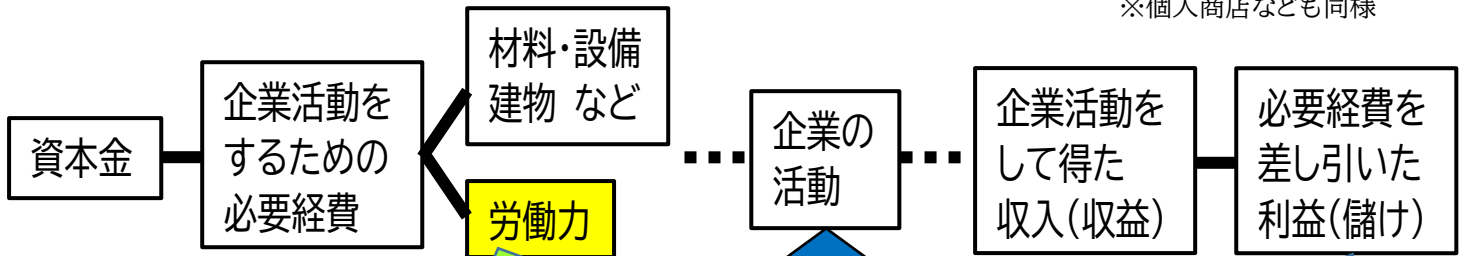
だから21春闘においてコロナによる減益で定期昇給が半分(昇給係数2)になっても仕方ない……



しかし！私たちの賃金は会社の儲けから出ている訳ではありません！

【今の経済下において、企業が利益を得る流れを図にしたものがあります】

※個人商店なども同様



私たちの賃金は企業活動を行う能力
(=労働力)を会社に提供する対価として、「賃金」を得ています。

私たちの賃金は企業活動を行う必要経費の一つ

会社が得た利益は、内部留保・株主配当・次なる事業の経費に使われます

利益は直接私たちに戻りません

私たちは労働（企業活動）を行う能力（=労働力）を会社に提供し、企業の活動を行なう→企業は利益を得る

**私たちは、多額の利益を得るほど毎日会社で働き、労働力を提供している！
会社に提供している労働力に対する価値=対価を高く求めるのが「春闘」です！**



労働者は1日働けば疲れます。明日も労働力を提供するためには、精神的・肉体的に回復させる必要があります。「賃金」には衣食住の生活費(=再生産費)が含まれています。また次世代の労働者を育てるための子どもの養育費も「賃金」に含まれます。物価高で衣食住が大変な現状だからこそ物価高に応じた「賃金」を求めます。



八王子地本春闘総決起集会

2月27日(金)18:30～ 八王子支部会議室

私たちが提供する労働力の価値を上げるため

2026JR総連春闘をたたかうぞ！



去年の焼き増しですが
26春闘について
情報にしました④

春闘勝利のための三要素

- ① **支払い能力** → 会社が賃上げできる決算状況か？
- ② **世間相場** → 他の企業も賃上げする流れになっているか？
- ③ **組織力** → 会社と組合の力関係は？

① 支払い能力



2025年度年末年始期間 (2025年12月26日～2025年1月4日)

対前年比 **105%** コロナ禍前を上回った昨年の過去最多記録を上回る！

2026年3月期第3四半期決算

運輸単体営業収益は対前年比 **105.0%** 5期連続増収！

② 世間相場

今春闘においても「人材確保の観点」と、「物価上昇に負けない賃金」を勝ち取るための要求を、多くの労組で掲げ、企業も回答を出しています。

【例】電機大手の労組:ベア18000円要求 すかいらーくHD:正社員5.35%賃上げ(5年連続)

伊予鉄道グループ:全社員平均7%以上賃上げ イオンリテール:パートの時給8%賃上げ

※伊予鉄道グループ…愛媛県松山市の私鉄である「伊予鉄道」のグループ。鉄道やバスなど。

③ 組織力

私たち東労組は、18春闘におけるたたかい方の誤りで大敗北し、現在に至っています。しかし多くの職場で今の会社に対し不満を持つ未加入者は多くいます。その表れとして、昨年の本部大会以降、31名(2月5日現在)の組織拡大を実現しています。

**会社に「賃上げ」を要求し、対等に議論が出来るのは労働組合＝東労組です
働く仲間が結集する事で、春闘勝利のための組織力強化に繋がります！**

しかしJR東日本会社は「全社員の職務能力給を1万円以上増額しベースが引き上がること、またほかの手当等の平均支給額も大幅に増額となることを踏まえ検討していく考えである」(JR東日本『新賃金・夏季手当について』より抜粋)とベアを抑制するかのよう主張を行っています！

会社の意図で賃金制度の改正により増額されることと、働く者の要求で賃金のベースアップを図る事は全く別である！今こそ私たちの団結力で、職場での努力に報い、物価上昇しても安心して生活できる賃金を勝ち取ろう！



八王子地本春闘総決起集会

**総決起集会に結集し
満額回答勝ち取るぞ！**

2月27日(金)18:30～ 八王子支部会議室